

特定非営利活動法人エーキューブ
平成28年度 事業報告及び決算報告書

期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

平成29年5月24日

総括

東日本大震災の影響が各家庭や地域状況に今なお残る現状を感じる一年でした。本会の活動が多方面から求められた中、対応できなかった事業もあり、残念な場面もありました。このような中でも会員の皆さんからご協力を頂き、活動の柱である「動物介在活動」「動物の防災啓発」「動物愛護事業」が、安全に継続できましたことに感謝申し上げます。

平成28年度の重点目標に掲げた内容を確認しながら一年を顧みます。

(1) 会員および活動動物の増員

- ・ 仙台市主催のセミナーやしつけ方教室、また本会独自のボランティア養成講座開催において適性のある方々への声掛けやパンフレット配布
- ・ 自主研修日を早めに決めて積極的に案内
- ・ 散歩時や動物病院での出会い、様々な仙台市協働事業の場面において勧誘機会を企画勧誘チラシに自主研修の予定を記載して配布しました。また要請を受けて、県外においてボランティア養成講座を開催したことは活動周知の幅を広げることにつながりました。本会の活動に関係の無い団体からの出前講座要請も利用することで、会の理解と社会貢献としての活動を強調できました。目に見える成果は得られませんでした。アプローチの種はまくことができました。

(2) 小学校における「動物介在教育」は今年度も仙台市協働事業として実施

- ・ 本会の確定済み訪問活動とのバランスが取れるように、年間を通して偏らない活動となるよう年度初めに調整を要請
- ・ 児童数の多い学校のプログラム再考

仙台市動物管理センターに対して学校への働きかけの工夫をお願いしたところ、担任教諭に案内が届く方法や活動の理解が簡単にできる冊子の作成が進み、本会も飼い主の感想提供などの協力を行いました。また、セミナーの一環として見学者を受け入れる体制は各方面へ活動の正しいPRにつながるものと確信しました。

(3) 「動物の防災」に係る事業は本会ならではの多岐にわたる活動を実施

- ・ 出前講座の要請を積極的に受け入れ「災害時ペット同行避難」を啓発
- ・ 講話での発信者が増えるよう役割を分担しながら実践研修を実施

「仙台市被災動物救護対策本部」が解散、今年度から「仙台市動物救護連絡会」構成メンバーとして復興公営住宅ペット飼い主の会の継続支援事業をサポートしました。今年度も各地で様々な災害が起きました。本会が行った被災動物救援の活動ノウハウやネットワークが参考になればと「震災活動記録誌」の作成に関わりました。改めて震災から6年間の活動の振り返りもできましたので、会員の皆さんにもご覧頂ければと思います。また、4月に起きた熊本地震においては各方面から情報を収集した結果、会としては現地で活動を行っている被災動物救護ボランティア団体へ募金寄付という形で協力しました。動物管理センターでのシッター業務や譲渡会スタッフ活動は、本来の「動物愛護事業」として日々皆さんに奮闘頂きました。お陰で多くの犬達が良い出会いに恵まれました。仲間通しの意見交換をセンターにつなげ、ルールや注意点の再確認を行い、安全で楽しい活動になるよう努めたところです。

様々な形で会員の皆さんからご協力を頂き、15年目の活動を締めくくることが出来ましたことに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

事業報告

1. 動物介在活動・介在療法・介在教育並びに不登校に係わる事業

《活動報告》

*トリック：活動参加動物の得意芸

*ハンドラー：自身のペットを連れ活動に参加する会員

*サポーター：ペットを連れずに活動に参加する会員

活動形態	動物介在活動／高齢者／集団
施設名	医療法人社団 清山会 いずみの杜診療所（仙台市内）
目的	地域在住の高齢者が、健康を維持して住み慣れた町で暮らす事ができるように、自主的に開催している「健康教室」において、動物と共に活動することにより、精神的にも身体的にも活動性が高められる事を目的とします。
概要	〈実施日〉 施設側の都合により、今年度の実施なし
成果	年度当初予定していた、毎年実施の介護予防教室（AAA）が、今年度は施設の都合により実施なしとなりましたが、施設の担当者から「健康教室はおそらく今後は無くなると思いますが、いずみの杜での活動は従来通り、折をみて、AATを行っていただければと思います。職員の異動があり、訪問リハに従事していた職員が、4月からまた施設内の勤務になるので、AATも行い易くなるかもしれません。AAAの希望も職員からあります」とのお話をいただきました。次年度の活動に期待したいと思います。

活動形態	動物介在活動／高齢者（認知症）／集団
施設名	医療法人社団 初心会 杜のホスピタル・あおば（仙台市内）
目的	入院の対象者 15 名とデイケアの対象者 15 名の混在型に対し、動物とのふれあいを通して心身の活性化や情緒の安定を図り、日々の生活への意欲を引き出すなど、単調な時間になりがちな日常の中での楽しみや癒しとなることを目的としています。
概要	<p>〈実施日〉 全 5 回 参加動物種：犬</p> <p>① 6/15・対象者数：30 名・従事者数： 11 名・犬：4 頭</p> <p>② 7/20・対象者数：20 名・従事者数 10 名・犬：2 頭 ※見学：日本盲導犬協会仙台訓練センター職員 1 名</p> <p>③ 8/17・対象者数：30 名・従事者数： 10 名・犬：3 頭 ※特別参加者：実習生 1 名・対象者の家族 2 名</p> <p>④ 12/21・対象者数：30 名・従事者数： 8 名・犬：2 頭</p> <p>⑤ 1/18・対象者数：30 名・従事者数： 8 名・犬：3 頭</p> <p style="text-align: center;">参加のべ数：従事者 47 名・犬 14 頭</p> <p>〈活動場所〉 杜のホスピタル・あおば 1F ディールーム</p> <p>〈活動内容〉 前半後半 15 分ずつの 2 部制混在型の対象者と犬とのふれあいやトリック披露、さらにボランティアとの会話を深め、対象者参加型のトリックを展開するなど、対象者それぞれの状態に応じた関わりが持てるような活動を心がけています。</p>
成果	<p>認知症の高齢者を対象に行う活動で、参加犬を固定し、繰り返し訪問する事により認知症の方も記憶にとどめて下さっている方も増えて貴重な活動となっています。施設職員の担当者と、活動前の打ち合わせを念入りに行い、入院施設、保育園、食堂を併設している為、衛生面には気を遣う施設ですが、初参加の犬の受け入れにもご理解いただき、対象者を選んで参加させて下さるなどの協力体制も出来てきました。それに応える為にも充分配慮し実施させていただきました。今年度はグループホーム「みたき」の参加はありませんでしたが、対象者を 3 つのグループに分かれて座っていただき、最初は担当場所を決めていますが、施設担当者の方、活動リーダー、サポーターの声掛けで、手持ち無沙汰にならないよう全体に犬が廻る事が出来て喜んで頂けたかと思えます。対象者が活動中、目の前の犬に対する興味だけではなく、犬の名前や姿を記憶にとどめていて下さる方が増えてきたと感じています。季節感を大事にして、クリスマスの時など、カチューシャや、トナカイの被り物を被った対象者さんの笑顔は素晴らしいものでした。それに伴い、犬の名前を呼んで下さる方が段々と増えてきました。初めて参加する犬も気持ち良く受け入れて下さり、気に掛けて頂くシーンも多く見られました。続けて参加している犬もハンドラーも施設の雰囲気によく馴染みストレスを感じる事が少なくなってきました。犬の参加が 2 頭になった活動もありましたが、担当者、司会者、サポーターのお力をお借りし、楽しく活動出来た事も、今後犬の頭数の少ない時の良い経験になったと感じています。</p> <p style="text-align: right;">※活動報告会実施 H29. 2/15</p>

活動形態	動物介在活動／成人／集団
施設名	社会福祉法人 なのはな会 障害福祉サービス事業所 生活介護 こまくさ苑 (仙台市内)
目的	参加動物・飼い主とスタッフが訪問し、重度知的障がい者（通称：ゲンデル）の方と約30分の時間を過ごします。身体や視覚・聴覚が不自由な方には施設担当者が付き添いながら、動物とのふれあいを楽しみます。職員の方と綿密な打ち合わせをしながら、対象者の状態（体力や視覚・聴覚・触覚・会話等）に合わせ、動物とのふれあいが対象者に良い刺激となるような活動を行うことを目的としています。
概要	<p>＜実施日＞ 全4回 参加動物種：犬</p> <p>① 6/1・対象者数：5名・従事者数：8名・犬：2頭 ※活動視察：広南病院東北療護センター職員2名見学</p> <p>② 7/6・対象者数：8名(ゲンデル6名他2名)・従事者数：7名・犬：3頭</p> <p>③ 10/5・対象者数：10名(ゲンデル7名他3名)・従事者数：6名・犬：2頭</p> <p>④ 11/2・対象者数：6名・従事者数：6名・犬：2頭</p> <p style="text-align: center;">参加のべ数：従事者27名・犬9頭</p> <p>＜活動場所＞ こまくさ苑 ゲンデルルーム・苑庭</p> <p>＜活動内容＞ 毎年同じゲンデルの対象者に少人数でのゆったりとした活動を行っています。昨年まで臥位が多かった対象者を座位で犬と向き合う方向に変わりました。部屋に用意されている椅子に腰掛けたり、車いすに乗って犬とお散歩したりとかなり活動範囲が広がった内容になりました。対象者一人一人に合わせたきめ細やかな活動となっています。</p>
成果	<p>昨年度と同じように重度障がい者の対象者と犬との交流をどのような形で展開していくか施設側と打合せの結果、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度から試行していた犬との散歩を全員に体験させるため活動内容をその都度確認する 2. 施設職員の方から対象者の方々の動作確認や体調・気持ち等の情報をスタッフ間で共有 3. 事前に参加犬の写真（A4サイズ）を施設に渡し、「今度来る犬の写真を対象者に紹介」 4. 活動の始まりと終わりを対象者に理解していただくために、始まりは犬紹介、終わりに一芸披露を導入、このような動きで今年度実施しました。 <p>＜具体的な活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気が良ければ施設中庭での散歩、天気が悪ければ施設内廊下での散歩の他、ふれあいやトリックを織り交ぜ、対象者一人ひとりにも対応出来るよう工夫する ・車椅子での散歩に対しては毎回担当の職員と相談し、犬の安全をも十分に配慮し、個々の犬の状態に合わせて一緒に散歩を楽しむような方向で活動をする ・体重の軽い犬は車椅子の対象者の膝に乗り、中型、大型犬はリードを短くして、より犬と散歩をしている気分を味わっていただく <p>＜今年度の感想＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内でのふれあいでは、対象者の方がその犬に何かをしてあげたいという意思表示も現れ、犬にマッサージをしたり、おやつをあげたり、トリックのコマンドを出したりと、犬達も楽しい体験が出来、中には対象者と犬がまったりと寄り添って優しい表情になり、うとうとするシーンも見られ、良い形態になりました。 ・対象者が名前や顔を覚えている犬や人達が集い、新しい顔ぶれを温かく迎え入れて下さった事も、息の長い活動にするために大切な事と思いました。 ・活動以外では、活動後の報告書には、職員からの要望や、対象者のご家族に活動の様子を話した結果など記入して下さい、次回も喜んでいただける活動にしようという意欲を私達にもいただいた活動になりました。 <p style="text-align: right;">活動報告会実施 H29.1/24</p>

活動形態	動物介在活動／成人／集団
施設名	一般財団法人 広南会 広南病院 東北療護センター（独立行政法人自動車事故対策機構）（仙台市内）
目的	交通事故による脳損傷の重度後遺障害を持つ療護施設患者に、ペットとふれあうことで単調な療護生活に良い刺激を感じていただきたい、という療護センター職員の思いからエーキューブに活動依頼がありました。
概要	<p>〈実施日〉 8/25 参加動物種：犬 対象者数：4名・付き添いの家族2名 職員6名／見学者(院長 事務長 他2名) 参加数：従事者5名・犬2頭</p> <p>〈活動場所〉 広南病院 東北療護センター東棟 〈活動内容〉 犬とのふれあいということで、施設側は当初屋外での活動イメージがありました。エーキューブの活動理念や形態を理解していただくため打ち合わせを行い、活動の様子も見学していただき、動物介在活動のイメージをつかんでいただきました。また、柴内先生の動物介在活動セミナーを施設職員（看護師）に受講いただくこともできました。そのような経緯によって屋内の環境が整った場所で活動を実施するに至りました。 本会も対象者に配慮し、抜け毛の少ないプードルの犬種2頭で訪問しました。ハンドラーは対象者4名（車いす）の個々の状態に合わせ、それぞれの犬の個性にあったふれあいを工夫されていました。</p>
成果	<p>初めての訪問先で、対象者も打ち合わせでだいたいの状態を伺っていましたが、初めての対面にもかかわらず、犬がお好きな方が参加されているので、ハンドラーが声がけすると積極的な反応がみられました。 施設職員からも「日頃見られない患者さんの表情・行動を目の当りにし、改めて動物介在活動の有効性を感じ取ることができました。また見学のご家族や参加したスタッフ一同も癒されたひと時でした」という感想をいただき、次年度の定期的な活動の要望をいただきました。</p>

活動形態	動物介在活動／児童・生徒／集団／仙台市協働
施設名	仙台市適応指導センター 児遊の杜（仙台市内）
目的	不登校の児童生徒が通級できるようになるきっかけ作りに関わります。動物を介して会員と自然なコミュニケーションがとれるように配慮し、複数の児童生徒が同じ空間で一緒の時間を緊張せず過ごせるよう子ども達に寄り添い、犬や人に対する気持ちを表現するきっかけ作りに関与します。
概要	<p>〈実施日〉 全4回 参加動物種：犬 対象：小学5年生～中学3年生の青空スペース(小集団)</p> <p>① 11/9・対象者数：7名・従事者数：4名・犬：2頭 ② 12/7・対象者数：8名・従事者数：5名・犬：2頭 ※見学1名 ③ 1/11・対象者数：8名・従事者数：5名・犬：2頭 ④ 2/28・対象者数：12名・従事者数：4名・犬：2頭</p> <p style="text-align: center;">参加のべ数：従事者 18名・犬 8頭</p> <p>〈活動場所〉 仙台市適応指導センター 児遊の杜3階教室 〈活動内容〉 対象者への対応に適した犬と会員が訪問。小集団の中で児童生徒が犬のしぐさや表情を読み取り、気持ちを察することにより犬との信頼関係を徐々に築いていく過程を見守りつつ、犬に関わる40分間の活動プログラムを体験習得してもらいます。</p> <p>「普段の動物たちの気持ちや生活について知りたい」「犬はなぜ吠えるのか・咬むのか」「仲良くする方法」の疑問に答える内容（挨拶の仕方、体のしくみ、一日のお世話、同行避難の説明&実践等）を組み入れました。気持ちを自然に言葉や態度に出せるきっかけ作りを工夫しました。</p>
成果	<p>所長や先生方との細やかな情報交換、事前打ち合わせ、活動への積極的な参加のお陰で、今年度も安全で穏やかな活動を行う事ができました。例年より1回少ない活動となりましたが、先生方の積極的な働きかけのお陰で、1回の活動が大変実り多い内容となりました。毎回、初参加の児童生徒がいたので、その新しい出会いは本会参加者にとって愉しみや励みとなりました。また、参加する前に全員が積極的に名札をつけてくださり、距離を縮めてくれました。犬とハンドラーの温かな絆を目の当たりにして、犬にはもちろんのこと、参加者や周りの子ども達にも優しい雰囲気を作ってくれて、犬にストレスがかからないよう配慮をしていました。言葉以外のサインをよく読み取り、すぐに犬のボディランゲージを理解できているようでした。思いやりの心や、本会参加者に積極的に関わろうとする意欲を感じた活動となりました。4回目の参加で初めて小型犬とふれあえた生徒と担当の先生はこの小さな出来事に一歩前に踏み出せた内容の感想を寄せていました。継続することで良い変化があったとして、来年度は例年通り5回の活動を強く要望されました。</p>

活動形態	動物介在活動 / 児童・成人 / 集団 / 仙台市協働
施設名	仙台市動物管理センター
目的	『夏休みふれあいわんにゃん工作教室』動物とのふれあい・散歩体験
概要	<p><実施日> 全2回 参加動物種：犬・猫 対象：犬や猫を飼っていない小学生親子 (2回の合計参加数53名) ① 7/23・対象親子11組28名・従事者数：9名・犬：3頭 / センター職員・猫 ② 7/25・対象親子10組25名・従事者数：7名・犬：2頭 / センター職員・猫 ※専門学校生 22名 + 先生1名 参加のべ数：従事者16名・犬5頭</p> <p><活動場所> 仙台市動物管理センター ホール&会議室 <活動内容> 犬や猫のさわり方やしてはいけない事、体の仕組みや行動、散歩の仕方等を獣医師や会員が説明した後、ふれあいや散歩体験をし、最後に猫の爪とぎやおもちゃ・犬の折り紙・飼い主へのメッセージカード作りをしました。</p>
成果	子ども達は、スタンプラリー形式で、犬：ホールでふれあい、芝生で散歩 / 猫：会議室でふれあい、散歩として、それぞれ心音を聞く・からだの違い・散歩・お世話の仕方等、色々な経験ができました。散歩が特に人気で、初めてリードを持つ子供達の満足そうな笑顔が多く見られました。各犬の得意分野で無理なく活躍でき、活動経験の少ない犬やセンターの譲渡候補犬にも負担が少なく活動できました。工作教室では、愛護ポスターや猫の爪とぎ・おもちゃなど子供達の個性があふれる素敵な作品が出来上がりました。

活動形態	職場体験・見学における動物介在活動 / 児童・生徒 / 集団 / 仙台市協働
施設名	仙台市適応指導センター 児遊の杜 各社のひろば (仙台市内)
目的	施設や働く職員の様子を見学し、ボランティアの役割体験を通して動物愛護や人との関わりを深めるとともに、自立心を養う、との参加側のねらいをサポートします。
概要	<p><実施日> 全3回 参加動物種：犬猫 ① 12/6・対象者数：15名・従事者数：3名 ② 12/10・対象者数：8名・従事者数：4名 ③ 12/15・対象者数：5名・従事者数：6名 参加のべ数：従事者13名</p> <p><活動場所> 仙台市動物管理センター 会議室&ホール <活動内容> 動物管理センターの施設見学および譲渡候補犬猫とのふれあいやお世話の一部を体験。動物の特徴を譲渡会でアピールするメッセージカードを作成しました。</p>
成果	7つの杜のひろばと児遊の杜の児童生徒が公共交通機関を利用して参加しました。センター職員や本会員のサポートを受けながら譲渡応援グッズの製作やお世話など真剣に取り組む姿が見られました。初めての場所で、初対面の参加者同士ですが、動物の存在が緊張をほぐしたのか、さりげない会話や老犬への配慮の質問等がこちらこちらで交わされていました。専門職やボランティアなど様々な立場で動物と接する多様な働き方を知る機会になったと思います。会員のみなさんのご協力、特に、日頃シッターで参加されているボランティア会員の方々の参加は犬たちも慣れているので安心できる活動となりました。今後も期待したいところです。

活動形態	動物介在教育／児童／集団／仙台市協働
施設名	仙台市立小学校 計4校 東六番丁・八幡・南中山・原町 各小学校
目的	動物（犬）とのふれあいを通し、動物（犬）のあたたかさや命の大切さを知ること、また、各学校の様子や主催者（先生方・PTA）の希望・ねらいを取り入れながら、 それぞれ生活科・総合的な時間の授業の一環として行いました。 テーマ：「犬と仲良くなろう」
概要	<p><実施日・活動場所・内容> 全4回 参加動物種：犬</p> <p>①9/27 東六番丁小学校2年生80名 体育館 5校時 45分授業 従事者数：7名・犬4頭 /先生4名 /動物管理センター4名</p> <p>②11/30 八幡小学校3年生105名 体育館 3,4校時 95分授業 従事者数：11名・犬5頭 /先生3名・PTA役員6名・保護者数名 動物管理センター6名・見学4名 /講師1名・犬1頭 ※従事者側は、動物介在活動ボランティアセミナーの一環として、赤坂動物病院獣医師を講師に招き、実地指導を受ける ※学校側はPTA主催企画を取り入れ実施。事前の2回の打ち合わせや当日スタッフとしてPTA役員6名が参加し、当日、保護者の手伝い参加もありました。</p> <p>③1/12 南中山小学校1年生78名 ワークスペース 5校時 45分授業 従事者数：9名・犬4頭 /先生4名 /動物管理センター4名</p> <p>④1/27 原町小学校1年生92名 体育館 5校時 60分授業 従事者数：11名・犬6頭 /先生4名 保護者20名見学 動物管理センター4名</p> <p style="text-align: right;">参加のべ数：従事者38名・犬19頭</p>
成果	<p>現在アレルギー問題等で動物を飼育していない学校や、集合住宅で暮らしている為に動物を飼っていない家庭が多く、犬の散歩等を見かける場面が少ない地域もあるそうです。そこで子ども達には犬とふれあう前の約束・挨拶の仕方・さわり方・危険回避・さわってはいけない場面等のプレゼンテーションで、犬の気持ちや、犬を悪者にしないことを学んでもらいました。また、犬とのふれあいを通し、動物への親しみが増し、生き物の命を大切にする気持ちが育つきっかけとなったり、犬の様子をよく観察し「大きさ」「色」「形」「どんな動き」「さわるとどう感じるか」「飼い主さんとどんな風に暮らしているか」など、それぞれ気づいたことを自分の言葉や文章・絵で表すことができたようです。（後日児童の感想・絵を頂きました）</p> <p>今年度も会員・犬の調整には苦労しましたが、活動前の犬の準備や活動内容について、8/4に柴内裕子先生、11/29に千葉陽子先生より具体的なお指導を頂き、すべて安全・無事に行うことができました。またスタッフや犬の数に応じ、安全かつスムーズに行うために全体のプログラムの調整や各グループでのふれあいの仕方など、自主研修を重ね皆で取り組んできたことにより、参加会員・活動犬共に、それぞれレベルアップにつながりました。昨年経験された先生が、この活動の意義をご理解下さり、「今年度も是非」と実施要請を下されたことも、大きな励みとなりました。</p>

活動形態	動物介在教育／児童／集団／仙台市協働
施設名	仙台市中山市民センター・中山児童館（仙台市内） （ボランティア養成講座付帯事業）
目的	<p>「動物介在活動のためのセミナーと動物介在活動」の実施 動物介在活動のためのセミナーと動物介在活動を合わせて実施し、講義の後実際の活動の様子を受講者に見学してもらい、知識としてだけではなく活動の雰囲気を感じることによって動物介在活動により関心を持ってもらいます。</p> <p>活動対象は中山児童館に通う小学1年生で、犬とのふれあい方やさわってはいけない時を学んでもらった後、実際に犬とのふれあいを体験してもらいます。ハンドラーと対話をしながらその犬の特色に合ったふれあい方(かかわり方)を知ってもらえたらと考えました。</p>
概要	<p><実施日> 10/12 参加動物種：犬 対象者数：小学生15名・中学生ボランティア1名 職員3名／見学者(セミナー受講者)11名 参加数：従事者15名・犬4頭</p> <p><活動場所> 中山市民センター体育館 <活動内容> 当初対象者20名の予定であったため、犬の負担を考慮して30分間と短めの活動にしました。犬と仲良くなるためのあいさつの仕方やすわり方を学んでもらった後、グループに分かれて実際に犬とふれあいました。それぞれの犬の特徴や性格を生かしたふれあいタイムになったと思います。さわってはいけない時の写真パネルを見て学習した後、全員で『木になろう』を体験しました。質問・感想タイムでもたくさん発言がありました。活動終了後、子ども達は犬の絵や感想を書いて活動の振り返りをしました</p>
成果	<p>セミナーの講師を、会員でもある顧問獣医師に依頼し、ボランティアの心構えから実際の活動の流れを、一般の方にも分かりやすいように写真やデモンストレーターをうまく利用して説明でき、関心を持ってもらえました。デモ犬として2頭参加し受講者に対象者としての体験をしてもらい、動物介在活動の一端を実感してもらえました。講義の後に実際の活動を見てもらえるのがこの企画ならではの利点であったと思います。</p> <p>介在活動では当初の予定人数より対象者の人数が少なくなったため、短時間ではありましたが、ゆったりとしたふれあいの時間が持てたと思います。それぞれの犬の生活リズムや犬種の特徴、お世話の仕方など用具を見せながら話したり、実際に体験してもらったりなど、『さわる』だけではない、犬と人(ハンドラー)とのかかわり方について実践できた活動であったと思います。事前に『犬がこわい』という児童が数名いましたが、誰も場を離れることなく最後までふれあうことができました。</p>

活動形態	動物介在教育／児童／集団
施設名	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 仙台市鶴巻児童館（仙台市内）
目的	<p>幼児親子対象の活動では、「わんちゃんとふれあおう」をテーマに、優しい犬たちと穏やかに楽しい時間を過ごしてもらふことと、幼児が突然走り寄ってさわったり大人が子どもに犬を無理にさわらせようとする行為の危険性を学んでもらふことを目的としました。</p> <p>小学生対象の活動では、子ども達が「こども研究員」となり、「犬のからだ&犬の一日を知ろう」を研究テーマに、犬との正しいふれあい方や犬の身体、犬の気持ちの他、子ども達が犬について知りたい事を自ら学ぶことを目的としました。</p>
概要	<p>＜実施日＞ 全2回 参加動物種：犬</p> <p>① 7/12 対象者数：幼児親子8組（16名）・先生4名 従事者数：7名・犬：3頭</p> <p>② 12/24 対象者数：小学1～6年生 12名・先生3名 従事者数：6名・犬：3頭</p> <p style="text-align: right;">参加のべ数：従事者13名・犬6頭</p> <p>＜活動場所＞ 鶴巻児童館遊戯室</p> <p>＜活動内容＞</p> <p>幼児親子対象の活動では、親が手本となり優しく撫でる様子を見せ、慣れてきたら親子で犬の温かさや手触りを体験。その後、どんな犬とも仲良くなれるわけではない事をパネルを見ながら学び、一人歩きの犬に出会った場合の危険回避方法を親子で体験してもらいました。小学生対象の活動では、参加児童が犬についての研究員となり、事前に知りたい事を募り、詳しくお答えしました。犬の大きさや犬が好きな事、雄雌の見分け方など、さまざまな質問がありました。</p>
成果	<p>幼児親子対象の活動では、親が先に飼い主にあいさつし、さわってもいいか聞くことの大切さをご理解いただけました。親が優しく犬と接する様子に幼児の手も自然に伸び、笑顔のふれあいが多く見られました。飼い主がスキンシップや優しいほめ言葉で接することで言葉を話さない犬の気持ちを理解している事に共感頂き、親子でゆったりとしたふれあいを楽しむ事ができたようで、親子共に嬉しそうでした。</p> <p>小学生対象の活動では、児童からのたくさんの質問を活動中（自己紹介、ふれあい中、質問タイム）で答えていきました。色も形も大きさも全く違う犬の2グループに分かれ、耳・目・しっぽの形、食餌の量を比較したり、歯や肉球・犬の平熱、また犬の日頃の生活やお世話について聞いたり、更に質問タイムでも色々教えてもらい、終始熱心に聴き入る児童の姿が見られました。今回も活動日がクリスマスイブでしたので犬達もクリスマスの衣装で参加し最後にみんなで記念写真を撮りました。児童館の先生より「犬を飼っている子が少なかったので、一日の過ごし方や犬のからだについて教えて頂き、知らない世界を覗く事ができたのは子ども達にとってとても良い経験だったと思います。また来年もぜひ！」との活動依頼をいただきました。後日児童館から、研究員（参加児童）達による立派な『レポート』（観察結果の絵・感想）をいただき、児童達が喜んで関わってくれた事や犬達への愛情が感じられ、参加会員にとっても大きな喜びにつながりました。</p>

活動形態	動物介在教育／児童／集団
施設名	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 利府町西部児童館 (宮城県内)
目的	<p>幼児親子対象の活動では、「わんちゃんとふれあおう」をテーマに、犬とのふれあい方を学びながら親子で穏やかな時間を持っていただき、犬を褒めるハンドラーの様子から褒めて育てる大切さを感じてもらう事を目的としました。</p> <p>小学生の活動では「犬と仲良くなろう」をテーマに犬とふれあい、楽しい時間を過ごすことで動物に優しくすることを学び、友達や周りの人にも優しく接する心を育てることを目的としました。</p>
概要	<p>〈実施日〉 全2回 参加動物種：犬</p> <p>① 9/7 対象者数：幼児親子8組17名・先生2名 従事者数：5名・犬：3頭</p> <p>② 9/24 対象者数：小学1～6年生 17名(児童ボランティア7名含)・先生2名 従事者数：7名・犬：3頭</p> <p style="text-align: right;">参加のべ数：従事者12名・犬6頭</p> <p>〈活動場所〉 利府町西部児童館遊戯室</p> <p>〈活動内容〉</p> <p>幼児親子対象の活動では、怖い思いをさせないために、必ず飼い主に聞いてからさわらせてもらう大切さを、悪い例と良い例を示し説明しました。親子で犬に優しくふれあい、仲良くなった後には、さわってはいけない場面や危険回避のプログラムを親子で体験してもらいました。小学生対象の活動では犬とのふれあいを通じ「優しくすると仲良くなれるのは人も犬も一緒」をテーマに、犬(相手)の気持ちを感じ取る大切さを伝えました。児童ボランティアへは、しっかり事前ミーティング・練習を行い、デモは「声はしっかり・はっきり・ゆっくり」話し、パネルの持ち方も、見てくれる人を意識するよう伝え、犬とのあいさつの仕方や「木になろう」などのデモにも積極的に関わり、児童たちの良い手本となってもらいました。</p>
成果	<p>幼児親子対象の活動では、最初に親から犬へ挨拶し優しく撫でる姿を幼児に見せることにより、幼児もすぐに手が伸び、「優しく撫でられて犬も気持ち良さそう」と伝えると、親子で笑顔が広がりました。親子で犬の身体を観察したり優しく触れたり、またフセをした犬の周りに数人の幼児が寝転がる風景も見られ、終始和やかな時間を過ごせました。参加スタッフが少ない状況でしたが、一人一人が積極的に動き、安全な活動を作り上げました。小学生対象の活動では、それぞれの犬の個性を感じ、熱心に観察する様子が見られ、3頭目とふれあう頃には子ども達も慣れてきて随分会話も増えていました。今回はボランティアとして参加する児童も多く、担当スタッフのアドバイスのもと、積極的に各グループの誘導やふれあいのお手本、プレゼンなどで活躍し、終了後、「色々な種類の犬と仲良くなれた」「楽しかった。色々学べた」「3回目だったが、いろいろな犬とふれあえた」「毛の違いを感じられた」「見本ができたのが良かった」と話してくれ、先生方からも「大変良い経験となったと思う」と感想をいただきました。「犬もお友達も同じ、やさしい気持ちで接しよう。犬もやさしくされるとうれしい気持ちになる」との先生の最後の挨拶に皆で頷く様子に、充実した活動となった事を感じ、会員にも大きな励みとなりました。</p>

《セミナー・しつけ方教室開催事業》

- ①動物介在活動セミナー I (仙台市協働事業) 講師：柴内裕子先生
実施日：8/4 実施場所：仙台市動物管理センター 会員 18 名・活動犬 5 頭受講
- ②動物介在活動ボランティア養成講座の開催 (仙台市協働事業) 講師：エーキューブ理事
実施日：10/12 実施場所：中山市民センター会議室
エーキューブ会員 8 名・犬 2 頭 一般 12 名・中山市民センター職員 3 名受講
- ③「動物介在活動ボランティア養成講座」講師：NPO 法人エーキューブ※講師依頼者：釜石保健所
実施日：11/23 実施場所：釜石保健所 従事者数：1 名
- ④犬の適正飼養推進セミナー 「愛犬の正しい育て方講座『うちの子もセラピー犬！？』
(仙台市協働) 講師：千葉陽子先生
実施日：11/29 実施場所：仙台市動物管理センター
エーキューブ会員 20 名・犬 5 頭 一般 14 名・犬 7 頭 動物管理センター職員 受講
- ⑤動物介在活動セミナー II (仙台市協働事業) 講師：千葉陽子先生
実施日：11/30 実施場所：八幡小学校 会員 10 名・活動犬 7 頭受講
- ※①～⑤の実施に当たり、随時打ち合わせを行いました。

《不登校・ひきこもりの青少年対象のこころの支援》 本年度実施なし

《仙台市不登校支援ネットワーク関連事業報告》

- ①平成28年度不登校支援ネットワーク第1回運営会議
実施日：5/18 実施場所：仙台市役所上杉分庁舎12階第1会議室 参加者数：3名
- ②平成28年度不登校支援ネットワーク第2回運営会議
実施日：2/3 実施場所：仙台市役所上杉分庁舎12階第1会議室 参加者数：3名
- ③仙台市適応指導センター入級児童生徒合同体験活動「七つ柱の会」
実施日：2/17 実施場所：教育センター 参加者数：3名

2. 動物の防災及び被災動物の救護に係わる事業

《防災活動》

- ①災害時のペット同行避難リーフレット配布
- ②平成28年度仙台市総合防災訓練 (会員への緊急時連絡訓練実施) 実施日：6/12
- ③平成28年度仙台市総合防災訓練「ペット同行避難の啓発」(※仙台市協働) 実施日：6/12
桂小学校 (日中の訓練) 従事者数：5名 富沢小学校 (夜間訓練) 従事者数：4名・犬2頭
※上記打合せ 実施日：5/24・6/8 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：のべ11名
- ④館町内会 ペット同行避難訓練 (仙台市協働)
～ペット同行避難&災害に備えてのポイントに関する学習 中学生含めて35人への講話&展示～
実施日：6/25 実施場所：館町内会・館中学校 従事者数：4名・犬1頭
上記打合せ実施日：5/24・6/8 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：のべ11名
- ⑤片平市民センター防災訓練 ペット同行避難啓発 (※主催：片平市民センター ※仙台市協働)
実施日：10/30 実施場所：評定河原球場向 東北大グラウンド 従事者数：2名・犬1頭
※上記打合せ：10/14 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：5名
- ⑥復興 i-L a n d 同行避難啓発ブース 勾当台公園 (※仙台市協働)
実施日：10/30 実施場所：勾当台公園 従事者数：4名・犬1頭
※上記打合せ：10/14 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：5名

⑦平成 28 年度津波避難訓練（袋原小学校会場）（※仙台市協働）

実施日：11/5

実施場所：袋原小学校

従事者数：3名・犬1頭

※上記打合せ：10/14

実施場所：仙台市動物管理センター

従事者数：5名

⑧11/22 朝 6 時 福島沖地震発生 震度 5 弱 仙台市内震度 4 理事間にメール発信、対応確認

⑨取材対応

・東北大学災害科学国際研究所 防災教育プログラム 打合せ（※東北大学・仙台市協働）

実施日：11/9

実施場所：仙台市動物管理センター・鶴巻児童館

従事者数：のべ3名

《講師依頼対応》

①高森市民センター講話「ペットのための防災」～災害から大切な家族を守るために～ 講師
（仙台市協働）

実施日：11/19

実施場所：高森市民センター

従事者数：4名・犬2頭

②仙台市ガス局出前講座 I 『ペットの防災について』講師（仙台市協働）

「ハウテック講演 ～明日来るかもしれない大災害に備えてペットのために準備すべき7つのポイントについて～」

実施日：1/22

実施場所：北六番丁 ハウテック 2Fショールーム

従事者数：1名・犬1頭

※上記打合せ：1/5

実施場所：北六番丁

ハウテック 2Fショールーム

従事者数：1名

《被災動物の支援活動》

①日本ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ボンド・ソサエティからの義援金による事業の実施

「特定非営利活動法人エーキューブ 2012 年度東日本大震災被災者支援 犬猫の避妊去勢手術費用補助」の実施

②被災動物の適正飼養相談・物資送付 他

③人・企業・団体等へフード・おやつ・ペットシート・衛生品等 支援の呼びかけ

④熊本地震における被災動物状況の把握および支援団体からの聞き取り（電話・Eメール等）

《その他》

・2015 年 3 月開催の「第 3 回国連防災世界会議」出展用パネル・各種資料を様々な場所で活用

※その他、被災動物救援活動等についての問い合わせに通年で対応しました。

《仙台市被災動物救護対策連絡会事業》

①被災動物救護対策連絡会メンバーとして会議に出席

*復興公営住宅ペットの会 説明会・総会（エーキューブ／動物管理センター／獣医師会／建設公社）

a. 落合復興公営住宅ペットの会支援説明会

実施日：5/16

実施場所：落合復興公営住宅

従事者数：1名

b. 角五郎復興公営住宅ペットの会支援説明会

実施日：6/5

実施場所：角五郎復興公営住宅

従事者数：1名

c. 霊屋下復興公営住宅ペットの会支援 診療券配布

実施日：6/19

実施場所：霊屋下復興公営住宅

従事者数：1名

d. 鹿野復興公営住宅ペットの会 設立総会&診療券配布

実施日：6/25

実施場所：鹿野復興公営住宅

従事者数：1名

e. 角五郎復興公営住宅ペットの会支援 診療券配布

実施日：6/26

実施場所：角五郎復興公営住宅

従事者数：1名

f. 六郷復興公営住宅ペットの会説明会

実施日：1/11

実施場所：六郷復興公営住宅

従事者数：1名

g. 六郷復興公営住宅ペットの会設立総会&説明会

実施日：3/11

実施場所：六郷復興公営住宅

従事者数：1名

- h. あすと長町第三復興公営住宅ペットの苦情対応同行
 実施日：3/23 実施場所：あすと長町第三復興公営住宅 従事者数：1名
 *仙台市被災動物救護対策連絡会 会議
 実施日：11/18 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：3名
- ②仙台市被災動物救護対策本部 平成27年度監査出席
 実施日：4/13 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：2名
- ③仙台市被災動物救護対策本部の震災記録誌作成会議
 実施日：7/25・8/10・23 実施場所：仙台市動物管理センター他 従事者数：のべ8名
 ※記録誌提出10/5 校正提出：2/26

3. 人と動物の関係に係わる支援事業

《講演会・セミナー等参加・聴講》

- ①適性飼養推進セミナー 「愛犬・愛猫と最期まで健康に暮らすために今日からはじめよう
 『温活』と『栄養管理』」 講師：招き猫ホスピタル院長 石井万寿美氏
 実施日：3/12 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者数：3名
- ②適性飼養推進セミナー「猫の感染症対策～シェルターメディスンに学ぶ衛生管理」
 講師：カリフォルニア大学デイビス校 田中亜紀氏
 実施日：3/25 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者数：6

4. 動物愛護啓発に係わる事業

《譲渡事業（仙台市協働）》

実施場所：動物管理センター

- ①収容動物譲渡会 8回
 実施日：5/28・6/25・8/27・9/24・10/22・12/18・1/21・3/12 従事者数：のべ48名
- ②譲渡候補犬のシッター・グルーミング(シャンプー・カット等)・治療補助
 実施日：4/1～3/31の平日 11時～15時まで ※随時時間延長あり
 4月：13回(21名)・5月：8回(26名)・6月：17回(29名)・7月：11回(15名)
 8月：13回(21名)・9月：13回(32名)・10月：13回(20名)・11月：12回(18名)
 12月：9回(20名)・1月：8回(18名)・2月：14回(20名)・3月：18回(29名)
 通算 149回実施 /従事者数のべ 269名(※前年度：通算161回/従事者数のべ333名)
- ③K9(ケイナイン)シッターボランティア説明会 全3回
 実施日：5/19・7/22・9/24 受講者数：3名・従事者数のべ：4名
- ④シッター懇親会
 実施日：3/21 従事者数：8名 他 通年で意見交換等 随時実施
- ⑤譲渡会・適正飼養・動物愛護週間・慰霊祭等についての広報活動
 ※市内各所へのチラシ・冊子等の配布やHP掲載を含め、通年で実施
- ⑥シッター事業についてセンターとの打合せ ※通年で随時
- ⑦センター長期休館期間の譲渡候補犬・猫の一時預かり 今年度は依頼無し
- ⑧K9同窓会 今年度は実施無し

《マナーアップ啓発パンフレットの配布》

- *4月中の狂犬病予防接種会場にて(仙台市協働事業)
 実施日：4/8・9・13・14・17・19・24・25

実施場所：仙台市内8箇所
 従事者数：のべ8名

《動物愛護週間行事『動物慰霊祭』（仙台市協働）》

実施日：9/22

実施場所：福祉プラザ

従事者数：3名

《片平市民センター主催 片平公園イベント「犬のしつけ・飼い方相談会」講師
（仙台市協働）》

実施日：10/1

実施場所：片平公園

従事者数：4名

《みやぎのまつり・青葉区民まつり マナーアップ事業（仙台市協働）》

ペット（飼い主）のマナーアップ・散歩グッズ・マナーの啓蒙・愛犬・愛猫の適正飼養に関する展示・飼養相談対応等

①「みやぎの・まつり」 実施日：10/16 実施場所：榴岡公園 従事者数：5名

②「青葉区民まつり」 実施日：11/3 実施場所：勾当台公園 従事者数：5名

※上記について動物管理センターと打合せ・準備

実施日：9/14・10/14 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：のべ9名

《適正飼養出前講座「ペットとの暮らしをより楽しむためのしつけのはなし」講師
（仙台市協働）》

実施日：11/4 実施場所：みどりの風ガーデン（西洋ハウジング長町展示場） 従事者数：2名

《「わんこ育て支援サロン」（通称：わん育サロン）》 本年度実施なし

《動物愛護に関する活動への参加・協力》

①取材対応 「月間ゆるる 譲渡会について」

実施日：6/25 実施場所：仙台市動物管理センター

従事者数：1名

②どうぶつフェスタ in MIYAGI （主催：宮城県獣医師会・仙台市獣医師会）参加

動物介在活動紹介・散歩マナー啓発・譲渡会PR・ペットの防災啓発・被災動物救援活動パネル展示他

実施日：9/18 実施場所：勾当台公園市民広場 従事者数：10名・犬3頭

上記打合せ・準備：9/14, 16 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：のべ5名

③動物愛護週間行事「長寿動物表彰式」 どうぶつフェスタ in MIYAGI にて

実施日：9/18 実施場所：勾当台公園市民広場

従事者数：10名

④アニマル仙台出身猫の「しっぽゆらゆら写真展」（仙台市協働）

実施日 2/13～28 実施場所：市役所本庁舎1階ギャラリーホール

※掲示・広報手伝い 実施日：2/22 実施場所：同上

従事者数：2名

実施日 3/6～31 実施場所：仙台市動物管理センター ※掲示・広報手伝い 期間中随時

⑤アニマル仙台出身猫の「しっぽゆらゆら写真展」（仙台市協働）

実施日：3/6～ 実施場所：仙台市動物管理センター

⑥仙台市動物愛護協議会に齋藤文江（副理事長）が協議委員として出席および会員が傍聴

実施日：11/25 実施場所：青葉区役所4F第1第2会議室

従事者数：7名

実施日：3/13 実施場所：仙台市役所本庁舎2F第4会議室

従事者数：4名

⑦「ドッグスポーツサミット」打合せ（(株)万福主催・仙台市協働）

実施日：2/27・3/17 実施場所：仙台市動物管理センター

従事者数：のべ4名

《各種セミナー受講》

①しっぽゆらゆら猫ボランティアの会

実施日：5/11・3/25 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者数：のべ9名

②飼い主のいない猫対策セミナー「猫を取り巻くルール～人と猫が共にくらしやすい街にするために」

講師：大久保さやか氏

実施日：6/28 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者数：1名

③飼い主のいない猫対策事業にかかるセミナー 「『飼い猫』を『飼い主のいない猫』にしないために、『飼い主のいない猫』を『飼い猫』にする為に、出来ることから始めよう」

講師：第1部 麻布大学 大谷信伸代氏 第2部 大阪市獣医師会会長 細井戸大成氏

実施日：12/2 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者数：4名

④飼い主のいない猫対策事業にかかるイベント～「地域猫」を始めよう～人と猫と暮らしやすい街にするために～

講師：(社)ちよだニャンとなる会 香取章子氏

実施日：3/4

実施場所：東一中央ビル4階会議室（啓発ブース：ブランドーム一番町アーケード内）

参加者数：3名

5. その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

本年度実施なし

運営報告

1. 通常総会の開催

■第10回通常総会

日時：平成28年5月18日（水）13：30～15：00 会場：みやぎNPOプラザ

議事：第1号議案 平成27年度事業報告及び決算の承認

第2号議案 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)の承認

2. 理事会の開催

■平成28年度第1回理事会 4/21 みやぎNPOプラザ 出席理事11名

議事：第1号議案 平成27年度決算の承認

第2号議案 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)の承認

第3号議案 熊本震災対応

■平成28年度第2回理事会 9/12

※電磁的理事会開催（電子メールによる議事進行） 出席理事11名

議事：第1号議案：平成28年熊本地震における被災動物に対する支援

■平成28年度第3回理事会 2/23 みやぎNPOプラザ 出席理事11名

議事：第1号議案 平成29年度事業計画および予算に関する件

3. 定例会等の開催

- 平成 27 年度事業・会計監査 4/28 みやぎNPOプラザ
- 第 1 回定例会 5/10 みやぎNPOプラザ
- 第 2 回定例会 7/14 みやぎNPOプラザ
- 第 3 回定例会 8/31 仙台市動物管理センター
- 第 4 回定例会 10/3 仙台市動物管理センター
- 平成 28 年度事業・会計中間監査 11/15 みやぎNPOプラザ
- 第 5 回定例会 1/13 みやぎNPOプラザ
- 第 6 回定例会 2/23 みやぎNPOプラザ
- 平成 28 年度監査準備① 2/23 みやぎNPOプラザ
- 第 7 回定例会 3/29 みやぎNPOプラザ

4. 研修・講師等

《研修》

エーキューブ自主研修（検査、活動練習・準備、入会希望者対応等含む）実施回数：全 11 回
実施日：5/24・6/6・7/13・8/31・9/14・10/3・11/16・12/14・1/16・2/22・3/22
実施場所：仙台市動物管理センター
参加のべ数：会員 111 名・犬 62 頭 参加 ※入会希望者随時見学受け入れ（9 名）

《講師依頼対応》

- ① 六郷市民センター出前講座『ペットに関するボランティア活動について』（仙台市協働）
実施日：6/18 実施場所：六郷市民センター 従事者数：3 名・犬 1 頭
- ② 仙台市ガス局出前講座Ⅱ『動物介在活動について』（仙台市協働）
「ハウテック講演～「ペットと一緒に社会貢献してみませんか」」
実施日：1/29 実施場所：北六番丁ハウテック 2Fショールーム 従事者数：3 名・犬 1 頭
一般 6 組 10 名・犬 2 頭 他ガス局営業課職員、ハウテック職員 受講
※上記打合せ：1/5 実施場所：北六番丁 ハウテック 2Fショールーム 従事者数：1 名

《その他》

市長とカフェトーク（「困難を抱える子どもへの支援」を行っている市民と市長との懇談会）出席
実施日：10/19 実施場所：仙台市役所本庁舎 従事者数：1 名

5. 運営体制

- ① 各種ボランティア講座講師依頼による収入の発生
- ② 仙台市被災動物救護対策連絡会構成団体としての一般への認知度のアップと収入に繋がる事業の拡大、また本会への寄付の増加
- ③ 会員数
平成 28 年 4 月 1 日現在 88 名（正会員 83 名（66 世帯）、ボランティア会員 5 名）
平成 29 年 3 月 31 日現在 85 名（正会員 80 名（65 世帯）、ボランティア会員 5 名）
- ④ エーキューブ通信（活動のお知らせ・参加者募集・その他連絡事項の伝達）を計 7 回発行
- ⑤ 活動のお知らせ・手順プリント等 計 28 回発行
- ⑥ その他、訪問施設や行政等への文書、賛助協力者への礼状等、随時送付。
 - 仙台市社会福祉協議会へ団体概要シート等提出

●役所関係手続き 5/27

1. 法務局に「総額資産の変更」申請
2. 仙台市市民局市民協働推進課に「平成 27 年度事業報告書」提出
3. 仙台市市民税企画課に「仙台市法人市民税 減免申請添付書類」提出
4. 仙台北県税事務所に「宮城県仙台北県税事務所 減免申請添付書類」提出

●エーキューブHP修正（事業・役員名・H27 年度事業報告 更新）

および、CANPAN 平成 27 年度事業報告データ更新

⑦事務局体制

理事長：佐々木ひとみ

副理事長：齋藤文江・千葉浩二

理事・事務局長：照井浩子

理事・会計：川上喜恵美

理事：後藤美佐・渡邊圭子・三塚尚義・工藤梓・島田真須美・村上淳子

6. 所有品について

管理番号	購入日	品名	メーカー・型名	購入金額	備考
001	2007.8.24	携帯電話	au	5,221	009へ機種変更のため廃棄
002	2008.10.28	ラミネーター		8,780	
003	2009.1.31	ビデオカメラ	日立 DZ-HD90	59,800	
004	2009.1.31	ビデオカメラ用三脚	TSC TS-004	2,980	
005	2009.1.31	カラープリンター	Canon ix5000	29,800	故障のため廃棄
006	2010.5.14	トリミングハサミ		19,635	
007	2010.9.9	ICレコーダー	SONY ICD-SX950/B	18,600	
008	2010.9.9	ポータブルDVDプレーヤー	東芝 SD-P12DTK B	36,800	
009	2011.3.28	携帯電話	au PF002 機種変更	0	011へ機種変更のため廃棄
010	2011.5.18	ポラロイドカメラ	FUJIFILM instax mini55	6,770	2016.3.31劣化廃棄
011	2015.9	携帯電話	au AQUOS SHF31 機種変更	17,280	
012					

会計報告

1. 平成28年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録 (NPO 会計基準)

特定非営利活動法人エーキューブ		平成29年3月31日	
科目・摘要			
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金		
	現金手許有高	1,623	
	郵便振替(ゆうちょ銀行 トクエーキューブ)	65,070	
	郵便振替(ゆうちょ銀行 トクエーキューブセンダイ)	629,670	
	普通預金(七十七銀行 加茂出張所)	422,589	
	郵便預金(ゆうちょ銀行)	232,829	
	立替金	0	
	仮払金	0	
	貯蔵品(切手類)	12,575	
	流動資産合計		1,364,356
2	固定資産	0	
	固定資産合計		0
	資産合計(A)		1,364,356
II	負債の部		
1	流動負債		
	前受金		
	H29年度会費	68,500	
	預り金		
	H29度ボランティア保険料	0	
	未払金	0	
	流動負債合計		68,500
2	固定負債	0	
	固定負債合計		0
	負債合計(B)		68,500
III	正味財産		1,295,856

2. 平成28年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表（NPO会計基準）

特定非営利活動法人エーキューブ			
平成29年3月31日			
		金額(単位:円)	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	1,351,781	
	立替金	0	
	貯蔵品(切手類)	12,575	
	流動資産合計		1,364,356
2	固定資産		
	固定資産	0	
	固定資産合計		0
	資産合計		1,364,356
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	0	
	前受金	68,500	
	預り金	0	
	流動負債合計		68,500
2	固定負債		
	固定負債	0	
	固定負債合計		0
	負債合計(B)		68,500
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産		1,212,644
	当期正味財産増加額		83,212
	正味財産合計		1,295,856
	負債及び正味財産合計		1,364,356

3. 平成28年度特定非営利活動に係る事業会計活動計算書（NPO会計基準）

平成28年4月1日から平成29月31日まで			
科 目	特定非営利活動法人エーキューブ		
	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費		122,000	
賛助会費受取会費		0	
ボランティア会員受取会費		3,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金		264,735	
東日本大震災支援金		0	
3 受取助成金等			
仙台市被災動物救護対策本部支援金		0	
4 事業収益			
事業収益		0	
5 その他収益			
受取利息	34		
雑収入	79,858		
保険料	15,300		
保健衛生費	0	95,192	
経常収益計			484,927
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
通信費	5,558		
携帯電話通信費	0		
印刷製本費	12,860		
消耗品費	5,380		
会議費	0		
接待交際費	0		
保健衛生費	48,875		
旅費交費費	0		
荷造運搬費	0		
保険料	0		
研修費	0		
支払手数料	0		
図書研究費	0		
諸会費	0		
雑費	0		
その他経費計	72,673		
事業費計		72,673	
2 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
通信費	30,169		
携帯電話通信費	31,482		
印刷製本費	680		
消耗品費	36,875		
会議費	4,268		
接待交際費	4,500		
保健衛生費			
旅費交費費	1,300		
保険料	15,300		
研修費	0		
支払手数料	1,014		
図書研究費	0		
諸会費	3,000		
雑費	200,454		
雑損	0		
その他経費計	329,042		
管理費計		329,042	
経常費計			401,715
当期正味財産増減額			83,212
前期繰越正味財産額			1,212,644
次期繰越正味財産額			1,295,856

(注) 特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

4. 財務諸表の注記（NPO会計基準）

平成 29 年 3 月 31 日

1. 重要な会計方針										
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日NPO法人会計基準協議会）によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書と呼んでいます。										
2. 事業別損益の状況										
事業別損益の状況は以下の通りです。										
科目	動物介在活動・介在療法・介在教育並びに不登校に係わる事業	動物の防災及び被災動物の救護に係わる事業	人と動物の関係に係わる支援事業	動物愛護普及啓発に係わる事業	その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	東日本大震災支援金	仙台市被災動物救護対策本部支援金	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収支										
1. 受取会費								0	125,000	125,000
2. 受取寄付金						0		0	264,735	264,735
3. 受取助成金等							0	0	0	0
4. 事業収益								0		
5. その他収益								0	95,192	95,192
経常収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	484,927	484,927
II 経常費用										
(1) 人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費										
通信費	4,868	570	0	120		0	0	5,558	30,169	35,727
携帯電話通信費	—	—	—					0	31,482	31,482
印刷製本費	12,500	50	0	310		—	0	12,860	680	13,540
消耗品費	5,164	0	0	216		0	0	5,380	36,875	42,255
会議費			0			—	—	0	4,268	4,268
接待交際費						—	—	0	4,500	4,500
保健衛生費	48,875	—				0	0	48,875		48,875
旅費交際費						0	0	0	1,300	1,300
荷造運搬費						0		0		0
保険料									15,300	15,300
研修費									0	0
支払手数料									1,014	1,014
図書研究費									0	0
諸会費									3,000	3,000
雑費									200,454	200,454
雑損									0	0
その他経費計	71,407	620	0	646	0	0	0	72,673	329,042	401,715
経常費用計	71,407	620	0	646	0	0	0	72,673	329,042	401,715
当期経常増減額	△ 71,407	△ 620	0	△ 646	0	0	0	△ 72,673	155,885	83,212
3. 使途等が制約された寄付金などの内訳										
使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。										
内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考					
東日本大震災支援金	-226,652	0	0	-226,652						
仙台市被災動物救護対策本部支援金	0	0	0	0						

監査報告

平成28年度 監査報告書

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日まで）の特定非営利活動法人エーキューブの業務及び会計の状況について監査を実施しました。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また会計の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問などの合理的な補償を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事業はなく、平成28年度の特定非営利活動法人エーキューブの会計の状況は適切なものと認められます。

平成29年4月20日

監事 雑賀 豊 

監事 福岡 良枝 